

第6分団長中野龍太郎さんが意見発表

秋田県消防大会

6月26日に由利本荘市の本荘文化会館で第63回秋田県消防大会が行われました。大会では美郷町消防団第6分団長の中野龍太郎さん（本館）が「私にとっての消防団そして未来へ」と題して意見を発表しました。また、町内の4事業所が消防団活動に理解と協力をしていることが認められ、平成22年度消防功労者（優良事業所）の表彰を受賞しました。



▲意見を発表する中野龍太郎さん

第10分団が総合1位

平成22年度美郷町消防訓練大会

7月4日に雁の里山本公園内消防訓練場で平成22年度美郷町消防訓練大会が行われ、町内の14分団364名の団員が参加しました。団員の皆さんは「小型ポンプ操法」と「規律訓練」それぞれの部門で、日ごろの訓練の成果を競い合いました。

また、各部門で第3位まで入賞した分団は7月17日に雄物川運動公園で行われた大仙市仙北市美郷町支部消防訓練大会に出場し、小型ポンプ操法の部で第2分団が第3位になるなど、各分団それぞれ健闘しました。



▲規律訓練



▲小型ポンプ操法

町消防訓練大会の結果は次のとおりです。

■総合の部		■小型ポンプ操法の部	
【第1位】	第10分団	【第1位】	第1分団
【第2位】	第2分団	【第2位】	第2分団
【第3位】	第1分団	【第3位】	第10分団
■規律訓練の部			
【第1位】	第10分団		
【第2位】	第4分団		
【第3位】	第5分団		

明田地地区
自主防災組織で学習会

7月6日に明田地地区自主防災組織が学習会を開きました。災害時の緊急連絡網を確認した後、人形を使った心肺蘇生法を体験しました。明田地地区自主防災組織では、このほか住宅用火災警報器を地区で取りまとめて購入し、町への補助金申請も指導して行うなど地域全体で防災活動に取り組んでいます。



善元寺自治会
自主防災組織で防災訓練

7月18日に善元寺自治会自主防災組織が防火訓練を行いました。防災行政無線で避難訓練の開始が放送され、電話連絡網を使って避難伝達訓練を行いました。避難場所の会館では地元消防団員の指導により消火器の使い方を教わった後、婦人部の皆さんが炊き出し訓練で作ったおにぎりやとん汁を参加者全員でいただきました。



防災行政無線による「地震速報」は秋田県内陸南部の震度を自動放送しています。
放送内容は電話でも聞くことができます。☎0187-85-3981 または ☎0187-85-3982

安全で安心して
暮らせるまちをつくる

美郷町総合計画『後期基本計画』では、将来の美郷町のために特に力を入れる施策を“まちづくり戦略プロジェクト”と位置づけています。その一つである「安全・安心プロジェクト」は生活基盤の安全・安心を確保し、町民一人ひとりが豊かで潤いのある生活を送ることができるまちを目指しています。「安全・安心プロジェクト」については次号の広報紙でご紹介します。

暮らしの安全・安心のため
様々な取り組みが行われています。



ぜひ取り組んで！日ごろの心掛けで事故防止

高齢者交通安全大会

6月25日に中央体育館で美郷地区交通安全協会主催の高齢者交通安全大会が開催され、約250名が参加しました。大会では大仙警察署の高齢者安全・安心アドバイザー4人が、暗がりでは白っぽい着衣や持ち物に付いた反射材が事故防止に有効であることを館内の照明を落とした状態で実演し、参加者に使用を勧めました。その後、飲酒状態の視野を体感できるゴーグルを着用して真っ直ぐに歩くことができるか試してみたり、車両が対象物に衝突した際の衝撃を再現する専用装置を使ってシートベルトの着用実験を行いました。参加者は講師の話に真剣に耳を傾け、交通事故を防止するために自分で出来ることについて理解を深めていました。

JA秋田おばこから指導車を寄贈していただきました

「安心して暮らせる地域づくりに役立てて」

このたびJA秋田おばこ（藤村正喜組合長）から軽ワゴン車1台を寄贈していただくことになり、6月25日に役場庁舎前で交通安全指導車の贈呈式が行われました。これは全国共済農業協同組合連合会秋田県本部が交通事故防止などを目指して取り組んでいる「地域の安全・安心プロジェクト」の一環で行われたものです。贈呈式では松田町長が「安心して生活できる町を目指して美郷町でも“安全・安心プロジェクト”に取り組んでいる。今回、寄贈していただいた指導車も地域の安全と安心のために活用させていただきたい」とあいさつしました。寄贈していただいた指導車は大切に使用させていただきます。ありがとうございました。



犯罪や非行を防止し 立ち直りを支える地域のチカラ

第60回社会を明るくする運動

7月2日に町保護司協議会（進藤晃成会長）の皆さんが社会を明るくする運動月間に合わせ、松田町長に法務大臣メッセージを伝達しました。この運動は犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更正に理解を深め、それぞれの立場から犯罪や非行のない明るい社会をつくろうと全国的に展開されています。メッセージの伝達後に行われたパレードでは「犯罪や非行に陥らないよう地域社会で支えよう」と呼びかけを行いました。

